

ブナの里

見事な黄葉が美しく映える黒松内町歌オブナ林のブナの樹々

黒松内町ブナセンター 学芸員 齋藤 均 撮影

- ◇ 2022年度上半期事業計画進捗状況 P2, 3
- ◇ 黒松内つくし園の社会貢献事業と取り組み P4~5
- ◇ 2022法人各施設行事特集 P6~9

2022年度 法人事業計画に対する 上半期進捗状況

本年度は、中長期的ビジョンを法人全体でさらに共有して運営を行ってまいります。また、さらなる法人事業再編と経営の健全化へ向けて、施設整備や事業運営体制の検討をさらに進めてまいります。そして、地域福祉の向上のために、社会福祉法人としての役割と使命を果たすため、役員一丸となって事業運営に取り組んでいるところであります。

新型コロナウイルス感染症拡大の脅威が続く中、医療・福祉施設の現場は依然厳しい状況において、日々奮闘しています。当法人でも感染対策の徹底を継続しながら、法人倫理綱領に則り利用者の生命(いのち)と生活(くらし)を守るため、さらに役員一丸となって取り組んでまいります。

こうした中、当法人における2022年度上半期の取り組みは、概ね事業計画に沿って進められています。その主な内容を以下に報告します。

○事業方針

- ＊法人基本理念・倫理綱領に沿った事業展開を行う。
 - ＊利用者・職員・地域住民の幸せを実現するため事業を行う。
 - ＊法人一体経営へ向けた取り組みや本部機能強化をさらに推進する。
 - ＊法人事業再編と健全経営に向けた方針の検討・実施を行う。
 - ＊中長期的ビジョンを法人全体で共有して事業運営を行う。
- 事業実施計画進捗状況
- (1) サービスの質の向上
- ・各事業所の利用者サービス計画実施状況を、四半期ごとの法人内部監査で点検を行い、適正に運営されていることを確認。
 - ・苦情解決委員会を計画通り2ヶ月毎に開催し、苦情内容の情報共有化と苦情件数の削減へ向けた取り組みを行っている。
 - ・リスクマネジメント委員会と虐待防止委員会を第1四半期に開催。利用者サービス・満足度

向上へ向けての取り組みを実施している。

- ・新型コロナウイルス感染拡大が続く中、各事業所で感染対策強化を継続しているが、しりべし学園成人寮でクラスターが発生。緑ヶ丘老人ホーム、黒松内つくし園で10名超、黒松内保育園では職員と児童合わせて50名超が感染した。俱知安地区その他各事業所でも数名が感染している状況であり、今後も十分な感染対策を徹底し拡大防止に努める。

(2) 5ヶ年中期事業計画の策定

- ・2023年4月1日からの5ヶ年中期事業計画の策定へ向けて、現状の経営分析から5ヶ年の収支予測の立案・作成を全拠点で実施している。下半期には、各拠点の将来的な展望と収支計画のヒアリングを行い、今年度末での作成完了へ向けて取り組んでいる。
- ・D&IやSDGsへの取り組みを今年度より強化し、役員への周知とブログ・広報等で発信を行った。
- ・4月より、児童養護施設の小規模化へのさらなる対応として、黒松内つくし園で2022年度本園入所定員を5名減少し70名とした。
- ・介護保険・障がい者自立支援

法をはじめ、措置事業や保育事業の法改正や報酬改定へ向けた対応を、中長期資金収支ヒアリングで拠点ごとに確認する。

- ・各拠点の適正人員配置と職員採用計画、人件費の見込等を策定し、中長期資金収支計画の立案を行うため、ヒアリングで詳細な検討を行う。
- ・旧緑ヶ丘ハイツ建物の解体工事実施と跡地の活用方法について継続して検討中。

(3) 法人事業の再構築

- ・俱知安地区事業再編と経営改善へ向けて、事業所と法人本部で運営形態変更、事業所統合、廃止など、あらゆる方向性を検討。下半期に俱知安地区全事業の再構築の方針の決定へ向けて取り組んでいく。
- ・泊村むつみ荘の次年度の指定管理更新に向けて、泊村と協議を行っている
- ・緑ヶ丘老人ホーム・緑ヶ丘ハイツの給食業務について、4月から日清医療食品に外部委託を実施。両施設の一体的な事業運営体制の再構築と増収・運営経費削減への取り組みを継続。
- ・緑ヶ丘ハイツの健全経営へ向けて8月よりプロジェクトを立ち上げ、新たな体制づくりへ向けた検討を行っており、再編計

画策定への取り組みを加速させていく。

(4) 人材確保・育成・定着への取り組み

- ・ 4月新卒採用者12名を迎え職員数495人でスタート、9月までに外国人18名他32名を採用し、退職者23名、9月末現在504名に増加した。今年度は外国人を除く中途採用者のうち、マイナビ転職サイトから介護員1名が着任した。
- ・ 自社求人サイト「トレルベサ」から2件の応募があり1名が採用となっている。また、「ジョブモデル」において1名が採用となった。各方面への求人情報の見直しを実施し、管理を法人本部が行うことで、効率的な求人活動を行っている。
- ・ 昨年度採用予定であったベトナム人技能実習生3期生10名と特定技能 2期生としてカンボジア人3名・インドネシア人5名が、5月から8月に着任。
- ・ 介護保険・障がい者自立支援法や措置・保育事業の処遇改善への取り組みとして、9月までの支援補助金に続いて、10月からの介護職員等ベースアップ加算申請等を行った。
- ・ 北海道最低賃金アップに伴う法人職員給与改定を10月1日に

実施した。

- ・ 育児子育て、新型コロナ両立支援助成金申請等への対応を進め、職員の待遇改善への取り組みを行っている。

- ・ 北海道働き方改革推進企業に申請し、当法人の雇用環境・職員待遇改善等への取り組みが評価され、2番目の高評価であるシルバー認定を受けた。

- ・ 「障がい者の就労支援の輪を広げる取組」道民一人1アクション」制度への参加申し込みを行い、取り組み内容が認定され北海道のホームページに公表。
- (5) D&I (ダイバーシティ&インクルージョン)の推進

- ・ ジェンダーレスやLGBT(性的マイノリティ)への対応として、事実婚・同性パートナーに対する福利厚生制度の適用を4月より開始した。

- ・ 多国籍の職員が在籍する法人所有外国人住宅での水道光熱費を、個人負担の上限を設け差分を福利厚生の一環として法人負担している。多文化共生社会への取り組みをさらに推進していく。

- ・ 育児休業制度の活用推進を行い、8月に当法人第1号となる男性の育児休暇取得を達成、今後働きかけを行っていく。

- ・ 本年10月の育児介護休暇の改正に伴う法人の取り組みを検討中。

(6) SDGs (持続可能な開発目標)への取り組みと発信力強化

- ・ SDGsへの取り組みを具現化するため、北洋銀行のサポートを受け、5月に「黒松内つくし園SDGs宣言」を発表。同行の取引先の社会福祉法人では後志地区第1号の宣言となり、法人ホームページで情報発信した。

- ・ 職場の人権・働きがいへの取り組みとして、差別やハラスメント防止へ向けて職員に周知文書を配布。今年度中にハラスメント防止研修を実施し、職員が働きやすい職場づくりへの取り組みを推進している。

(7) 法人本部集中化とICT化の推進

- ・ 法人内情報系システムで各規程・様式、災害時業務継続計画(BCP)等の更新を速やかにを行い、情報共有と電子化を進めている。

- ・ 事務機能・業務効率改善のためICT(情報通信技術)の活用と早期導入に向けた検討をスタート。人事・財務ソフトの更新も視野に、AIやRPAの有効活用と法人内ルール・規程改

- 正も含めた検討を行っていく。
- ・ 電子帳簿保存法とインボイス制度への対応を網羅した財務会計処理のICT化を、監査法人、税理士事務所と協議しながら進めていく。

(8) 地域貢献事業の推進

- ・ 配食サービス、奨学金支給等は継続して実施。配食サービスは上半期131日稼働し1,401食提供。奨学金5万円を町内高校生20名に支給。留寿都高校2年生へ奨学資金を毎月4万円支給している。

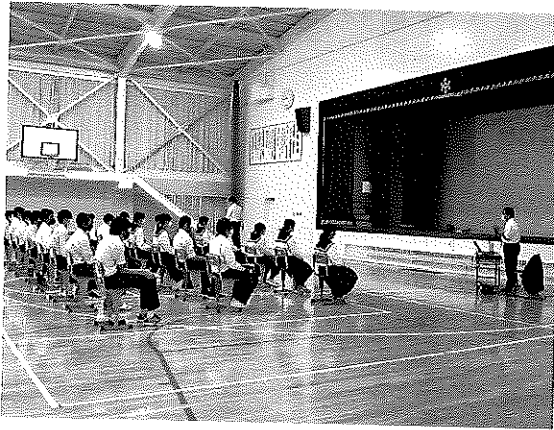
- ・ 各施設の行事等は感染対策を強化して、利用者のみ参加で各行事を再開。ご家族や来賓等の参加は、状況を見ながら各施設で判断し実施している。

- ・ 各施設で介護・保育実習の受け入れを行い、採用増に繋がっている。小中高生の福祉体験実習の受け入れも実施され、9月まで延べ37名の実習生を受け入れた。

- ・ 黒松内保育園の社会貢献事業として、子育て一時預かりサービスと送迎サービスを継続して実施している。
- ・ 慶和園在宅要介護者受入事業は、北海道の要請がなく9月末日現在未実施。

黒松内中学校生徒が 福祉のお勉強

黒松内中学校2年生の総合的な学習の時間として、湯の里・黒松内の嶋副施設長が福祉講話を行いました。数年来実施している社会貢献事業・福祉人材育成の取り組みの一つで、今回も中学校からの要請があり行いました。



「福祉のまち黒松内の生い立ち」、「福祉施設について」などをテーマにたくさんの方のイラストを使い分かりやすいように話しました。

現在では、他市町村に引け

取らない福祉のまちとなりましたが、黒松内町や町民の皆さんのご理解・ご協力により現在の規模までになったことなどを話し、生徒の皆さんは真剣に講話に耳を傾けてくれました。

黒松就労継続支援事業利用者が切り絵作品で表彰受賞

北海道知的障がい福祉協会主催の「北海道知的障がい者芸術祭みんなあーと2022」が、かでの展示ホール（札幌）で開催されました。

当法人の就労支援B型事業所「しりべしワークセンターセオス」では、自宅から通い作業に従事している神誠也さんが自分の特技を生かした作品作りを行っています。

今回は、切り絵の作品で「北海道知的障がい者芸術祭みんなあーと2022」に2点出展し、そのうちの1点「富士山」が北海道知的障害福祉協会会長賞に選ばれました。

神さんの作品は、切り絵のほ

か、消しゴムハンコなども町民から好評を得ています。今回の受賞を励みに、今後の作品作りにも意欲を燃やしていきます。



喫茶陽だまりが 表彰されました

倶知安地区の就労継続支援B型事業所「人と人をつなぐ陽だまり」で運営している喫茶陽だまりが、北海道食品衛生協会より「食品衛生優良施設」として表彰されました。9月8日に第60回北海道衛生大会の表彰式典が開催され、陽だまり職員が参加予定でしたが、感染症対応の

ため残念ながら表彰式に参加することはできませんでした。後日、透明感が美しいアクリルの楯をいただき、皆さん笑顔で記念撮影しました。

新型コロナウイルスの影響で、この数年は喫茶のお客様が激減しています。感染対策を十分行い、掃除も念入りに行っていました。そのおかげで今回、衛生優良施設として賞をいただき、職員と就労利用者にも大きな励みとなりました。

味良し、環境良し、ぜひ陽だまりへ！たくさんのお客様の来店を、陽だまりメンバー全員でお待ちしています！



緑ヶ丘ハイツ 開園記念祝賀会

11月1日、緑ヶ丘ハイツ開園47周年を記念して祝賀会が行われました。

調理師に目の前で寿司を握ってもらい、作りたてをいただきました。やはり、目の前で握られる寿司の魅力はすさまじく、次々と「まぐろ！サーモン！たまご！」等、おかわりの声上がり、「いや〜うまかった」と、みなさんとても満足されていました。



余興として、クイズ「ワサビ寿司を食べているのは誰でしょう？」を行いました。ルールは読んで字のごとくで、職員が挑戦しました。目の前に並べられた寿司の、ネタ越しにうつすら見える大量のワサビに若干ひる

みながらも、口に放り込む姿にハイツ職員の闘魂を感じました。依然コロナの勢いは収まらず、制限の多い日常ではありますが、その中でも一緒にたくさん笑い、楽しいひと時を過ごすことができました。

緑ヶ丘老人ホームが 大鳥神社境内清掃

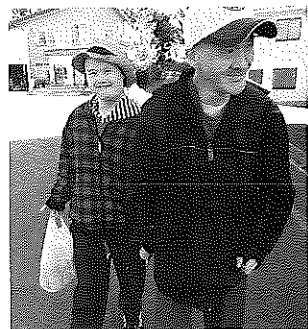
地域貢献の一環として緑ヶ丘老人ホーム開設以来、続けて毎年行っている、大鳥神社の境内清掃を今年も実施しました。毎年、参加を楽しみにされている利用者



も多いですが、残念ながら今年も職員のみで行いました。また、清掃後には神社に手を合わせ、皆様の健康とご長寿を祈願して参りました。

心のゆとりは幸せの合図

しりべし学園成人寮では利用者が心にゆとりをもつて安心して過ごせるように、日中活動や音楽鑑賞など様々な余暇支援を行っています。日中活動では、施設近



辺を散歩し、セオスの各課の作業にふかれ、紙ちぎりなどの作業を行い、体力を維持できるように支援をしています。また、しりべしワークセンターセオスでは、しめ縄の作成、年賀状の印刷も順調に進んでおり、今年も全道のお客様からご注文をいただいています（本誌12ページをご覧ください）。お客様の注文が障がい者からの就労支援に役立ちます。これからもご愛顧の程、よろしくお願ひ致します。

慶和園で介護力アップ へ勉強会開催

慶和園では身体拘束・虐待防



止委員会による勉強会を行いました。今回は「アンガーマネジメント」について学ぶ機会を設定しました。「アンガーマネジメント」とは、アンガー（怒りやイライラ）をマネジメント（うまく付き合う）するための心理トレーニングの事を言います。怒りのピークは長くても6秒と言われています。この6秒をやり過ぎるために深呼吸や6秒数えたり、どのような価値観がそこにはあるのかを考えたりしていると6秒は意外とあっという間に過ぎていきます。アンガーマネジメントは怒りを我慢するものではなく、必要な怒りに振り回されず、多様な価値観を認め合えるようになる事。仕事上のイライラを軽減させ、気持ちよく仕事が進められるために必要な知識です。今回の研修で学んだことを介護の現場で実践に活かしていきます。

各施設行事特集

泊村むつみ荘「敬老会」

9月19日の「敬老の日」、百寿を迎えた方が4名、米寿を迎えた方が4名、総理大臣並びに泊村長からの賞状及び祝い品が贈呈され、短期入所の方を含め利用者に祝い金が贈呈されました。

残念ながら、昨年度同様コロナ禍により、施設全体でのお祝いの会は開催できず、ユニット毎でお祝いを行いました。来年も利用者の皆さんが、健康で敬老の日を迎えることができるよう職員一同お祈りしています。



湯の里・黒松内「敬老会」

9月16日に園内敬老会を行いました。総勢17名の利用者のお祝いを行い、嶋副施設長よりお祝いの言葉と記念品が贈られました。

ニュン介護員、スレイポー介護員が着物を着て、利用者一人ひとりと記念撮影を行い「良い記念になりました、これからも長生きします!」と嬉しい言葉をいただきました。



黒松内町サービスセンター「敬老会」

9月19日からの1週間、敬老会週間として皆さんの長寿をお祝いしました。今年度、米寿を迎えられたのは2名の利用者。おめでとうございます。お二人とも見た目も気持ちも若々しく、とても米寿を迎えられたようには見えません。

吉田管理者から「よく寝て、よく食べて、サービスでたくさん笑ってください」と挨拶。皆さん、これからも体を大事にされて、お元気に通って来て欲しいと思います。



老人福祉施設 慶和園「敬老会」

9月16日、養護・特養の利用者が一堂に会し敬老会を開催しました。利用者の長寿を祝うとともに日頃からの感謝の気持ちを込めて、会場の装飾や食事の提供、余興を披露。今年の余興は、マグロの解体ショー!!



さばいたマグロは目の前でお寿司にして提供。大トロ、中トロは、「じゃんけんゲーム」で勝利したテーブルへ運ばれ、会場に歓声が響きました。「今伝えたいメッセージ…」では、利用者一人ひとりに届いたご家族からのメッセージを紹介。職員が代読させていただくと、感動のあまり涙ぐむ姿が会場のあちらこちらで見られました。



2022年度 法人

各ユニットで敬老会を開催しました グループホームつくしんぼ

9月18日に各ユニットに分かれ、敬老会を開催しました。絆ユニットでは開設当初からの利用者が卒寿のお祝いで、大迫施設長から「これからも元気で長生きして下さい」と花束が渡されました。喫茶陽だまりで作ったオードブルやフルーツの盛り合わせ、お赤飯などごちそうがたくさん並び、「美味しいね」と笑顔で会食しました。これからも利用者の健康とご長寿をご祈念し、笑顔で過ごせるよう職員一同努めていきます。



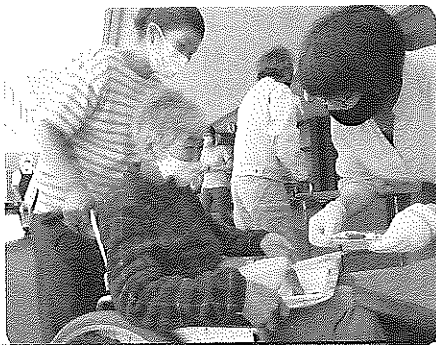
緑ヶ丘老人ホーム「園内敬老会」

今年度は、106歳を筆頭に11名の方の長寿をお祝いしました。3名が100歳以上、2名が白寿、6名が米寿を迎えました。例年のようにお祝いの場を設けることはできませんでしたが、岡久副施設長から記念品が渡されると、皆さんからの大きな拍手でお祝いしました。敬老会も会食などは自粛しましたが、衣装を着け一人ひとり記念撮影を行いました。



泊村むつみ荘野外イベント

9月9日、3年ぶりとなるミニ夏祭りを開催しました。焼き鳥やホタテ、カボチャ団子等の屋台でお祭りの雰囲気を味わっていただき、「どれも美味しいね」と好評でした。夜の部では、初めてとなる花火大会を開催しました。「最高にきれいだった。また来年も見たい」と盛況のうちに祭りを終えました。今後もWITHコロナを念頭に可能な範囲でイベントを開催していきたいと思います。



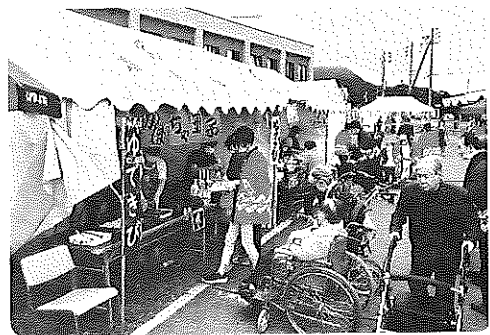
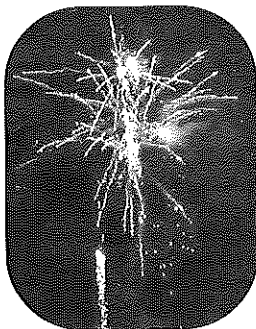
しりべし学園・成人寮「秋の交流会」

10月22日に学園と成人寮合同で「秋の交流会」を開催しました。玉入れ、フラフープ送り、パラバルーン等の競技を行いました。昼食には自分で選んだお弁当を食べ、利用者の笑顔と笑い声が響いた楽しい時間になりました。



慶和園で「ふれあいの夕べ」

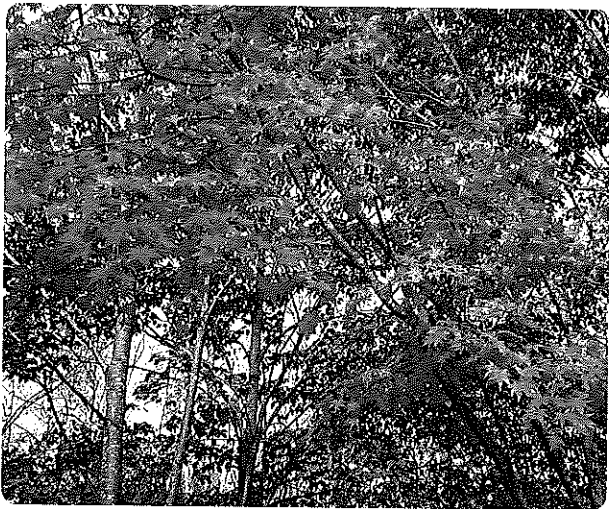
8月3日に「ふれあいの夕べ」を開催しました。感染症の影響で残念ながら今年のご家族や来賓の方々をお招きすることができませんでしたが、野外で開催することができました。露店やゲームコーナーを設置し利用者に大いに楽しんでいただきました。花火大会では大迫力の花火に皆さん感激された様子でした。



各施設行事特集

湯の里・黒松内で癒しの紅葉真っ盛り!

湯の里・黒松内は、法人内施設でも比較的山側に近く位置しており、いろいろな景色を見ることができます。11月に入り、周りはすっかり秋の装いとなりました。通所リハビリ室とリハビリ訓練室から見える外の景色が綺麗です。白樺の木やカラマツなどの木々の赤、黄、緑など見事な景色を見ることができます。リハビリをして身体を動かし温泉に入って身体を癒し、景色を見て心を癒すことができます。



後志リハビリセンター「町文化祭へ出展」

11月3日に開催された「黒松内町文化祭」の展示コーナーに、今年も後志リハビリセンターの利用者の作品を多数、出展しました。

日々の日中活動での利用者職員合同による「パネルアート」や工作、個人の趣味で制作した「スクラッチアート」、手芸作品など、多種多彩な作品が会場に飾られました。展示会場では「素敵ですね」と声を掛けていただいたり、他施設の作品に刺激をもらったり…。来年も、みんなで力を合わせて頑張って、さらに良い作品を作っていきます。



緑ヶ丘老人ホーム 「秋の味覚 焼き芋」を堪能

恒例行事になりつつある焼き芋。100本ほどのさつまいもの下準備は利用者の方皆さんにお手伝いいただき、あっという間に終了。そこから炭火で焼き上げることおよそ3時間。焼き上がる頃には、館内には炭火で焦げたさつまいもの甘い香りが漂いました。秋の味覚の代表、焼き芋を目でも舌でも味わい、身体の内側からも秋を満喫しました。



慶和園「秋の食事会」開催

慶和園のきょうごくユニットでは「秋の食事会」を開催。職員による手作り料理を提供しました。さつまいもご飯に鮭のホイル焼き、かぼちゃサラダ、なめこ汁、果物には柿とぶどう、まさに秋の味覚を皆さんで堪能しました。



2022年度 法人

緑ヶ丘老人ホーム「味の園遊会」

今年には大幅に規模を縮小し、開催時期を1ヶ月遅らせて、なんとか開催することができました。感染対策を行いながらではありましたが、色々な趣向を凝らし、少しでも利用者の皆さんにいつもと違う雰囲気を楽しんでもらえたらと、職員も一緒に輪になり楽しみました。コロナ禍だからこそできる工夫など再度見つめなおし、新しい形での試みをまだまだ続けてまいります。

来年はカラオケや余興などもできると良いですね。



黒松内つくし園「ぶどう狩り」

9月24日、女子棟の子ども32名と職員9名が仁木町へぶどう狩りに行きました。

ぶどう狩りは女子棟の恒例行事で3年ぶりに行われました。今回訪れた階楽園さんはボランティア団体『小樽BBS会』様主催の小学生を対象にした小樽一泊旅行でいつも様々な果物を提供して下さいている果樹園です。ハウスには6種類のぶどうが実っており、子ども達はおいしそうなお房を選んでお腹いっぱい食べました。



「湯の里祭り」開催

9月24日に湯の里祭りを開催しました。今年には「お祭りらしい雰囲気」を目標に準備を進めましたが残念ながら縮小の形での開催となりました。「少しでもお祭りらしさを出そう！」と利用者や職員も祭りのはっぴを着て音楽を流し料理を作ったり、豪華景品(特賞は大きなクマのぬいぐるみ)が当たるくじ引きを行ったりして楽しい祭りとなりました。



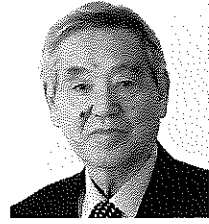
黒松内保育園「第56回運動会」

9月17日、総合体育館にて56回目となる運動会を開催しました。

今年には3年ぶりに保護者の観覧が実現することができました。競技数は例年より減ったものの、「きつねダンス」を玉入れに取り入れるといった工夫満載の競技は、見ていても参加しても楽しさでいっぱい。どの競技にも楽しんで取り組んでいる園児たちへ、会場からは大きな拍手が鳴り響きました。最後は保護者に見守られながら、担任からごほうびやトロフィーをもらって、笑顔があふれる運動会となりました。



当法人顧問
谷口徹様のご逝去



当法人の前理事長で顧問の谷口徹様が9月11日に享年86歳で永眠

されました。通夜・葬儀は黒松内町内で営まれ、多くの方々から弔問に訪れました。また、黒松内町名誉町民であることから、町民葬も執り行われました。

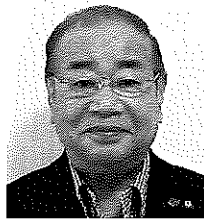
谷口顧問は、平成元年から5期20年黒松内町長を務められ、退任後の平成21年5月より当法人理事にご就任いただきました。平成27年7月に故廣瀬元理事長が亡くなった後、当法人第5代目理事長に就任されました。社会福祉法の改正や数々の難題が山積し運営が困難な中、法人の舵取りを行っていただきました。2期4年理事長を務められ、その後は現在に至るまで、顧問として法人運営にご尽力下さいました。

黒松内町名誉町民、そして旭日小綬章の叙勲を受けられました。また、社会福祉協議会会長

を十年間務められるなど、当法人そして黒松内町や後志管内の福祉向上に大きく貢献されました。

当法人の発展・成長と法人運営に大きく貢献されたことに、法人役職員一同感謝を申し上げます。心よりご冥福をお祈り致します。

当法人理事
茂尾実様のご逝去



当法人の理事である茂尾実様が9月30日に享年79歳で永眠されました。

通夜・葬儀は黒松内町内で営まれ、商工業関係者など多くの方々から弔問に訪れ故人を偲びました。

茂尾理事は、黒松内町商工会長として令和3年まで48年間、商工会と町内商工業者の振興発展に貢献されました。また、平成3年より現在まで当法人理事として、法人運営にご尽力いただきました。また、ライオンズクラブの「ガバナール」を務められるなど、黒松内町はもとより後志管内の発展と地域福祉向上

のためご活躍されました。そして本年5月「旭日単光章」を受章され、9月中旬に叙勲祝賀会を開催した矢先での逝去となりました。

当法人の発展・成長、そして現在に至るまで法人運営・経営に大きく貢献されたことに、法人役職員一同感謝を申し上げます。心よりご冥福をお祈り致します。

社会福祉法人

黒松内つくし園 役員一覧

理事長	大代貴輝
常務理事	遊部眞澄
(業務執行理事)	岡久雄
業務執行理事	澁谷剛
理事	吉田剛
	小谷孝
	坂口進
	追立司
監事	松田敏
	高橋光
	高橋一彦
	本間崇文
	松田順子
	大迫克司
	小野裕
	佐々木有
	大久保慶

えぞふじ納豆

蝦夷富士（羊蹄山）の湧水を使用した
手作り納豆をご賞味ください。



しょうがいしゃの就労と生活を支える

羊蹄セルプ

TEL (0136) 23-0425 FAX (0136) 22-1985
URL <http://www.selp.jp/>



社会福祉法人黒松内つくし園
会報ブナの里では、これまで法
人職員の採用・退職や表彰、慶
弔関係に掲載してきましたが、
個人情報保護の観点から、今後
は掲載を控えさせていただきます
す。どうぞご理解のほどよろし
くお願い致します。

法人会務の運営状況

(2022年7~11月開催分)

- ◆ 7月12日 施設長・副施設長会議
- ◆ 7月14日 相談員会議
- ◆ 7月19日 業務改善推進委員会
- ◆ 8月2、5日 第1四半期内部監査
- ◆ 8月9日 施設長・副施設長会議
- ◆ 8月9日 苦情解決委員会
- ◆ 8月10日 特定技能外国人辞令交付式・研修会
- ◆ 8月12日 人事考課者研修
- ◆ 8月23、24日 あすの監査法人期中往査
- ◆ 8月30日 研修委員会
- ◆ 9月9日 第1四半期監事監査
- ◆ 9月13日 施設長・副施設長会議
- ◆ 10月11日 施設長・副施設長会議
- ◆ 10月11日 苦情解決委員会
- ◆ 10月24、28日 上半期内部監査
- ◆ 10月26日 上半期監事監査
- ◆ 11月15日 施設長・副施設長会議
- ◆ 11月16日 事務担当者ミーティング
- ◆ 11月22日 全国福祉村サミット
- ◆ 11月24、25日 あすの監査法人期中往査
- ◆ 11月28日 広報委員会

「厚志」に心から感謝申し上げます

(令和4年6月1日から10月31日まで) 敬称は略させていただきます。

お詫びとご案内

社会福祉法人黒松内つくし園会報「ブナの里」では、これまで法人へのご厚志をいただきました皆様のご芳名を掲載してきましたが、個人情報保護の観点から、今後は個人の方からのご厚志の紙面掲載を控えさせていただきます。

当法人へのご厚志に感謝申し上げますとともに、ご芳名のご公表を控えさせていただきますことに心よりお詫び申し上げます。昨今の個人情報流出防止等への対応となりますので、どうぞご理解のほどよろしくお願い致します。

しりべし学園あいご会、黒松内つくし園後援会(以上黒松内町)、南
京極郵便局、紅寿司、(有)山中板金工業所、南京極町内会、(株)中村組、
菊地歯科医院、慶和園利用者親睦会(以上京極町)、(有)倶知安オイル
(倶知安町)、ダルコルポ(小樽市)、大和証券(株)、日本ガード(株)、
北海道新聞社会福祉振興基金(以上札幌市)

編集後記

ブナの黄葉が散り、タイヤ交換などの冬支度を済ませ、
長い冬と雪・寒さとの闘いがまもなく始まります。

この9月に、当法人発展の功労者である谷口顧問と茂尾
理事が相次いでお亡くなりになりました。お二方とも国の
叙勲をお受けになった人格者で、公私ともに大変お世話に
なりました。ご冥福をお祈りいたします。

現在のネット社会では、個人情報の取り扱いは大変重要
で慎重に行わなければなりません。今年の4月には個人情報
報保護法が改正され、企業・法人にはより徹底した対応が
求められます。法人会報でも職員の個人情報やご寄附をい
ただいた方の発信について、今後は控えさせていただきますこ
ととなりました。どうぞご理解をお願い致します。岡田

2023年 卯年 年賀状印刷



年賀状サイト



E-mail

セオス印刷課より年賀状販売のお知らせです。注文方法ですが、しりべし学園成人寮にて受付けている他に、チラシの郵送や右上のQRコードを読み取り、E-mailでの注文も可能となっております。商品の納品については、黒松内町内の方は配達、町外の方は郵送(無料)致します。お求めやすい価格での販売となっておりますので、ご利用お待ちしております。

印刷料金(税込)	カラー印刷	白黒印刷	金箔印刷
1~50枚まで	2,300円	1,800円	1枚につき 110円 (はがき代込)
51~100枚まで	2,600円	2,000円	
101枚以上につき	25円(1枚)	18円(1枚)	
はがき代	年賀はがき・喪中用はがき(胡蝶蘭)	63円	私製はがき 12円
宛名印刷 八ガキ・手書き入稿 40円 エクセル入稿 30円			



しめかざり販売

セオス園芸課より、しめ飾りの販売のお知らせです。しりべし学園成人寮にて受付けている他に、お電話での注文やチラシにて注文も可能となっております。ご注文頂いた商品に関しては、12月20日以降にお届けさせていただきます。1点ずつ心を込めて、利用者、職員が作製してまいりました。ぜひご利用ください。



ゴボウ



玄関用

品名	単価
自動車用ミニ	550円
玄関用ミニ	1300円
玄関用 小	1500円
玄関用 中	1900円
玄関用 大	2300円
神棚用 5俵	2000円
神棚用 7俵	2300円
ゴボウ小飾有	1200円
ゴボウ小飾無	900円
ゴボウ中飾有	1650円
ゴボウ中飾無	1100円
ゴボウ大飾有	2300円
ゴボウ大飾無	1300円
輪 締	100円
間縄 (1間)	400円
特 注	7000円

社会福祉法人 黒松内つくし園(就労継続支援B型事業)

しりべしワークセンターセオス

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内565番地2

TEL 0136-72-3820(印刷課)/0136-77-2950(事務所・園芸課)/0136-72-3952(クリーニング課)

E-mail s.gakuenseiseosu@tsukushien.or.jp

営業種目 印刷課：名刺・封筒・用紙類・製本・伝票・挨拶状・大判・パンフレット・カラーコピー・クリアファイル等
園芸課：花苗・野菜苗・しめ縄・和紙・椎茸・切り絵・ポストカード等 クリーニング課：クリーニング全般




名刺見本帳
総合パンフレット
無料配布中です



法人会報「ブナの里」第138号

発行年月日 令和4(2022)年11月20日発行
 発行者 社会福祉法人 黒松内つくし園
 発行責任者 法人会報ブナの里広報委員会

社会福祉法人 **黒松内つくし園**
 〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内562番地1
 電話:0136(77)2833 FAX:0136(75)7211

E-Mail: honbu1@viola.ocn.ne.jp URL:https://tsukushien.or.jp